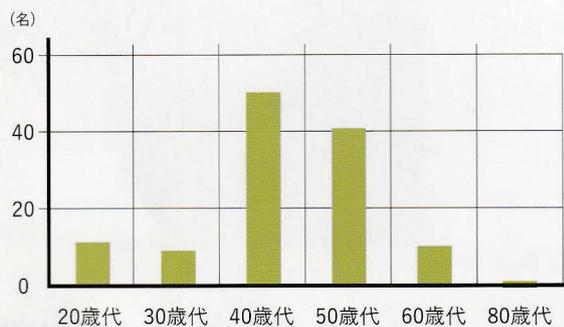


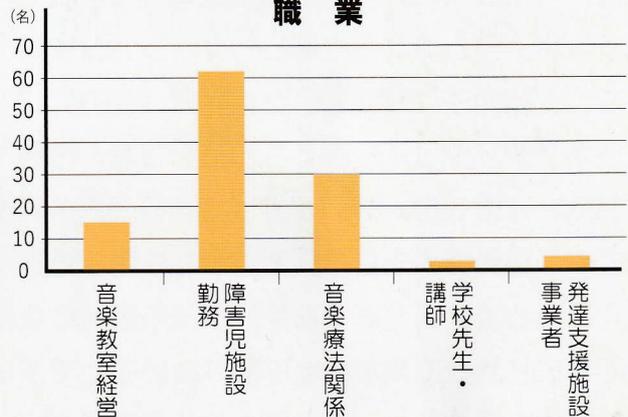
◆ ことば音楽療法士 取得者情報 ◆

資格取得者：125名（取得中の方を含む）平成29年6月1日現在

資格取得者 年齢層



職業



ことば音楽療法士の資格以外に持っている資格

- ・保育士：16名 ・学校教員免：14名 ・福祉関係資格：9名 ・音楽関係資格：21名
- ・看護師：5名 ・他：10名

資格取得者のうち約8割の方がことば音楽療法の資格を生かして活動をされています。しかしまだまだ数が足りていないのが現状です。今後もことばに悩む全国の子どもさんや親御さん、スタッフの方々に「ことば音楽療法」の良さを知って頂きたく活動をしてまいります。

INDEX

- ことば音楽療法士 取得者情報 1 ページ
- 日本ことば療法学会のご報告／堀田喜久男
- 第5回 日本ことば療法学会報告 2 ページ
- 「未来予想図Ⅲ」／横浜支部長 高橋亮太郎 3 ページ
- 「あそびアイテムがたくさんある教室」／末吉裕美 4 ページ
- 「ことばの音楽療法のニーズを確信して」／長坂利永子 5 ページ
- 「障害児童の可能性を求めて」／目 美香 6 ページ
- <コラム11> 穴戸理恵 ●書籍紹介 ●セミナー予定 7 ページ
- 認定校・認定教室 8 ページ

第5回 日本ことば療法学会のご報告

日本ことば療法学会 委員長
堀田 喜久男



平成29年6月10・11日（土・日曜日）に第5回日本ことば療法学会が60余名の参加して福岡市内で開催されました。

1日目は講習会で、『はなしことばの育て方』（後半）と題して徳田和恵先生。『おくちでハイ・ドン 音楽を使った高齢者の口腔機能強化プログラム』と題して高橋亮太郎先生。『言葉の音楽療法』（後半）と題して堀田喜久男先生がありました。

11日は研究発表。『成長期におけることば（発語）を促すことば音楽療法の取り組み』の楠本美保氏。“お金の学習”～自閉症児K君（8才）の石井純子氏。

シンポジウムは【個に適したセッションを考える】と題して、工藤知子 赤崎倫夫 徳田和恵 堀田喜久男 の4先生。

ドキュメンタリー映画「ちづる」視聴。母親 赤崎久美氏のお話。『困った人は』『困っている人』～発達障害について～ 後藤浩子先生の講習会がありました。

年を追って、ことば（音楽）療法も盛んになり、職業としても成り立って来たことは喜ばしいことです。さらに知識・技能を高められ、ご活躍されん事を願っています。



第5回 日本ことば療法学会の様子



第5回 日本ことば療法学会 IN福岡

今年で5回目となる学会は新天地 福岡（博多）にて開催を致しました。

「お久しぶり」「元気！」「仕事どう？」など1年ぶりに合う方々の挨拶が聞こえる中、1日目のことば療法士講習会、2日目のことば療法学会と合わせて100名程が参加して頂きました。

今回は初めての試みとなる映画上映を企画に入れ、研究発表、シンポジウム、セミナーなど仕事に直結する内容に、皆さん真剣に取り組んでみえました。日々仕事で担当する子どもさんの行動、ことばなどを思い浮べての勉強は、子どもさんの発達支援に繋がると思います。

そして大切なことは、学会で学んだ知識、情報をもとに即行動に移さなければ、子どもも自分自身も何も変わることはありません。行動してこそ子どもさんの発達に結び付き、それがことばに繋がっていきます。

皆さん！来年は東京にてお会いしましょう……

事務局





未来予想図 III

横浜支部長 高橋 亮太郎

先ごろ天皇陛下の退位に関する法案が衆院でも可決されたことで、平成から次の時代への移行がいよいよ現実のものとなってきました。バブル真っ只中に突入した平成でしたが、思えば実に大きな変化に富んだ時代でした。まだ終わってはいませんが。最大の変化といえば、何と言ってもインターネット・携帯電話・スマホの登場による通信／情報伝達革命です。現代は待ち合わせに遅れそうなときは電話かメールでパーソナルに伝えられますが、昭和ではお店に電話を取り次いでもらうしかありませんでした。知りたい情報は図書館に行かずともググれば瞬時に得ることができるし、何と素晴らしい時代でしょう！！と思うのですが、逆に社員は管理強化で過労死も増え、人を陥れる情報やひどい画像もすぐ拡散し、ハイテク犯罪も当たり前になってしまいました。

いつの時代も技術革新と人間の幸・不幸は比例しないのが不思議なところですが、今は亡き小淵さんがテレビであの半紙を見せて平成に変わったとき、これらの大変化を予想できた一般人はどれだけ居たでしょう。そして、次の時代の大変化の種はもうあちこちで芽を吹いているのです。ということで、新しい年号を迎えるにあたって次の時代に何が起こるのか予想してみませんか？

イケメン俳優・歌手が誰とカップルになるのかは大いに関心の的ですが、教育分野では学校の先生方の働き方や学校教育のあり方を見直す流れがおきているのは周知の通りです。例えば朝錬を廃止にして指導そのものも地域の外部講師に委ねたり、大学入試の英語はT〇〇〇〇の点数を充てるなどの案が出ています。つまり教育現場での外部委託機会の増加、というトピックです。これを聞いて私が思いましたのは、「どこかの自治体から堀田メソッドにことばの不自由な児童むけに通級教室での支援依頼があるのでは？」。それを言うならK文だって鼻息荒いかもしれませんが、言語機能の障害で学習の土俵に乗れない児童の発達をどう促すかという課題は簡単ではありません。条件等の話は高田さんの腕の見せ所ですが（笑）、もしそうなれば私達の仕事はかなり公的な使命を帯びたものになります。

むろんこれは勝手な空想ですが、平成に起こった予想を超える事象を考えれば、「それはあり得ない」と考えること自体がすでにあり得ないのかもしれませんが。中には天災のように考えたくないこともあります。全部ひっくるめて自分の人生です。「思った通りになんかえられてく」かどうかは天のみぞ知るところですが、皆さまはご自身の未来をどのように描いていかれるのでしょうか…。



『あそびアイテムがたくさんある教室』

音楽セラピーみゅーじっくらんど

末吉裕美

「アアア～アアア～アアアアアアア～」2歳児のKちゃんのセッションは三三七拍子に合わせた発声から始まりました。Kちゃんは、2歳を過ぎても全く言葉どころか音さえも発しなくて、お母さんが言葉を覚えさせようとするとうるさくすると声を出すことを嫌がると私の教室に訪れました。Kちゃんは、ピアノを弾く私の横に座り私がピアノを弾くと真似をするかのように鍵盤を叩き始めます。セッションを開始して3回目のある日「ア～」 「イ～」とKちゃんは生まれて初めて声を出しました。お母さんと私は、顔を見合わせて大喜び!! 私が『ことば音楽療法』をはじめた間もない頃のことです。正直、はじめたばかりの私なんか出来るのだろうかと不安気にセッションをスタートしました。言葉を話せるようにさせたい。

そんなお母さんの願いには「気長にレッスンしていきましょう♪」と答えるしかなかったのですが、3回目でこんな効果があるとは私自身が一番驚いていたと思います。その時から『ことば音楽療法』に魅了され、今現在は放課後等デイサービスを中心にたくさんの言葉に困っている子供たちにセッションしています。言葉が全く出ない子、発音が上手く出来ない子、吃音の子。さまざまな子供たちとセッションしています。一つの事を出来るまでに人一倍時間がかかる子たち。出来るようにと周りの大人が一生懸命になり過ぎ、あれもこれも出来て欲しいと当初は私も一生懸命に成り過ぎていました。

そんなある日、これ楽しいのかな? 楽しくなきゃヤル気も出ないし、こちらを見てくれるわけがない…そう思い始めた頃から私の『あそびアイテム』作りが始まりました。あそびの中で、お返事が出来るようになったりご挨拶が出来るようになったり。そんな学んで欲しいことを入れたあそびアイテム。子供たちに大人気は絵本の歌い聞かせ♪抑揚を付けて、ちょっとピアノの音が加われば名前を呼んでも見向きもしない子、動き回っている子もピタリと止まり絵本に夢中!! お決まりのフレーズを子供たちが口ずさんだら絵本の歌あそびになります。教室に来られる親御さんには、「あそびの中で学んでいきましょう♪」とアドバイスしています。子供たちが楽しくて夢中になる『あそびアイテム』がたくさんある教室♪これからも、どんどんアイテムを増やしていきたいと思っています。

ことばの音楽療法のニーズを確信して

セッション中のこどもの姿から、その魅力を実感

きらめき音遊空間☆R I N R I N

長坂 利永子

私たちは、愛知県岡崎市にて、グループで音楽療法活動を行っています。日々の「ことばの音楽療法」の活動の様子をご紹介します。

①児童発達支援事業所への訪問・・・発達の遅れが心配される0～3歳児が母子通園する。言葉が少ない等の理由で通所をすすめられるケースが多いと聞く。ことばの音楽療法は、1回に親子10組くらいの集団セッション。月2回。

三三七拍子のリズムと、ラソミのメロディーの音楽的要素に加え、マラカスやオノマトペ等、視覚に訴える要素が多くあり、多動なお子さんも活動にしっかりと参加できています。数え歌は、お部屋がシーンとするくらい静かになります。事業所の保育士さんが、こういった子どもの姿にまず驚かれています。

半年ほど経った頃、発達がゆっくりなグループのお子さんが、いつもは母親主導で、手を取り活動させられる形なのだが、母の手を振り払い、うんちゃをしたり、マラカスの活動が急に出来たりと、成長が感じられる場面がありました。お母さんは涙。スタート時には、まだこの療法は早すぎるように思われた、ほとんど反応のなかったお子さんでした。

また、半年経過したくらいから、歌にのせてお返事が上手にできる子が増えてきました。うんちゃは人気で、大きな声で「アー」と発声できたり、子どもたちは思い切り楽しんでいきます。セッション中に発語が出たなど、いろいろな体験談は紹介しきれないほどあります。母親はもちろん喜ばれ、スタッフも私も成長を一緒に喜んでいきます。

②R I N R I Nの教室・・・講師は浅岡由希子さん。月1回45分、1グループ2～3名の小グループ制で親子参加です。現在1年半経過しました。

印象的であったのは、自閉症の男の子（年中）。スタート時には発語はなく、じっと座るのは苦手でした。セッション中は、模倣することは非常に少なく、席を立ってしまうこともしばしば。セッションを行う意味があるのだろうかと思えるほどでした。しかし、半年後に発語があり、その後、ぐんぐん言葉を獲得していきました。今思うと、セッションで活動ができなくとも、耳で聞き、目で見ている。蓄積したものが、出てくるのだと後からわかりました。ことばの音楽療法というのは、こういうものなのか！と少し理解できたように思います。

実践する機会に恵まれたことで、この療法の良さ、素晴らしさを実感しました。ことばを伸ばしたい子どもへ、この療法を届けるべきだと強く思いました。児童発達支援事業と放課後等デイサービスを立ち上げ、ことばの音楽療法を受けられる岡崎市の拠点としたいと、現在計画中です。より多くの子どもたちに、ことばの音楽療法を受ける機会があるように、これからも活動を続けていきます。

障害児の可能性を求めて



さがん発語音楽教室

さがん

目 美香

私が堀田先生の下を訪ねたのは、長女が重度の自閉症だったからです。昔ピアノ教師をしていたので迷う事なく「これだ!」と思いました。私の場合、長女の自閉症、改善という切実な問題のため、アメリカの療育方法の行動療法とVB等も3年かけて勉強しました。

行動療法は日本の療育方針とは正反対の部分があるので、健常児の親や一般人からは倫理的に問題視されると思いますが、重度の障害児に人間の本能を利用して社会性を教えられるので自ら進んで取り入れていきました。

応用行動分析を用いて問題行動の分析を行い、行動の増減をその場で判断し、一人一人違う教え方をしていきます。そして、主導権は誰が握っているのかを教えます。なので子どもも始めは自分の要求が通らずに、泣く、暴れる、吐く、おもらしをする等、様々な抵抗をします。今まではそうする事で自分の要求が通ったからです。こうした後天的に作られた行動を変えるためには必ず起こる現象なので、私は問題の消去に対応します。

ご両親の方にも「家でもこんなに泣かせた事がない」「私だったら耐えられなくて自分から折れてしまう」と言われることもよくあります。子供のやりたい事をやらせるのは一番楽しいですが、私は楽しませるために教室を開いているのではなく、障害児の可能性を広げるために問題行動と正面から向かいあっています。そしてそれらを乗り越えると私の言う事は聞かなくてはならないと身をもって学びます。

ここまでくると堀田メソッドの素晴らしさは、知的能力が楽しみながら伸びていくところです。私はその流れの中に人の目を見る訓練、褒められても無反応の子どもに嬉しいと思える感情を育てる、共感やコミュニケーション能力を伸ばす等、社会性に必要な要素を沢山組み込ませてあります。「生まれてから一度も私の顔を見なかった子が、最近私の目をみてくれるのです」等、個人差はあるものの子どもの変化を実感していただいています。

子どものモチベーションを利用して強化し、行動を分析して問題行動は減らし、良い行動は増やし、そこに音楽療法との相乗効果ですから、可能性を広げる最初の一步になれたらと思っています。そして子どもの成長を感じたご両親が「この子には必要だな」と思った子どもを紹介してくれるので、私の教室には重度の子どもが多いです。私も自分の娘の成長を実感してきたからこそ「よし」「頑張るぞ!」とやる気満々になります。逆に軽度の発達障害の子どもの成長は目を見張るくらいの手応えを感じることがあります。

私はこれからも常に学び続け、手助けを必要としている方々のために、何か少しでも可能性を見いだせるお手伝いが出来たらと願っています。

コラム11

穴戸 理恵

以前、小学校の音楽鑑賞会の仕事で、5校の学校を数人で巡回し、ピアノ、ソプラノアリアやチェロ、リコーダーバロック音楽等の演奏をしたことがあった。演奏の合間に、小学校の子どもたちと音楽遊びや合奏も行った。

合奏は手拍子や体の各箇所を使ったボディーパーカッション、足踏みの音、リコーダー他、たくさんのパートを組み合わせるもので、約7分の打ち合わせ練習をしてからの、いきなり音楽に合わせての全校合奏。

リズム楽譜や五線楽譜を提示してもいきなりでは年齢差のある大きな集団は混乱をきたし、曲にならない。そこで「ことばと絵・図形楽譜」を活用。

例えば「♪♪♪」のシンコペーションのリズムを4回繰り返す時は「こまった（困った）こまった こまった こまった」と言いながら手を叩き練習。4拍分の8分音符分割では「くま くま くま」と言いながらパタパタと体を叩く。これらのようなことばのリズムを組み合わせ、ボディーパーカッションにし、簡単なリコーダーパートも指示をしながら私たちの演奏と大合奏を行った。

500名以上の合奏が成功し、鑑賞会後に通された校長室では「普段の子どもの様子では混乱して空中分解してしまうかと思いましたが出来るものなのですね。」と校長先生に仰って頂けた。

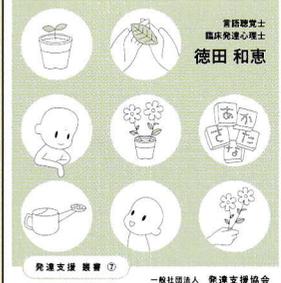
ことばの音楽療法では、抑揚と共に「ことばのリズム」が大切。抑揚とリズムが組み合い、伝わりやすい、聞きやすいことばとなる。

合奏が上手くいったように、ことばのリズムの「リズム感」を意識して身に付けていくようにすることはとても大切なことである。そしてそのことは、ことばの発達とともに、その子どもさんのリズム感のある行動や発育にも広く及んでいくことになるのではないのでしょうか。

第2弾発売！

はなしことばの 育て方2

文字を
ともだちに



ことばの育て方② ～文字をともだちに～ 徳田和恵 著

- 発売予定 8月
- 価格：(未定)
- 発行：
一般社団法人発達支援協会
叢書⑦

きらきら言音堂

検索

～ことば音楽療法 基礎セミナー～

(7月～12月) 予定

- 東京：嬉 ▶ 1回 11月頃
- 神奈川県：高橋 ▶ 1回 10月頃
- 埼玉県：高橋 ▶ 1回 9月頃
- 兵庫県：上野 ▶ 1回 7月17日 (海の日)
- 大阪府：土田 ▶ 1回 10月頃
- 東大阪：みそら音楽教室 ▶ 2か月に1回程度開催
- 愛知県 (三河)：穴戸 ▶ 3回 10月～12月
- 四国：水尻 ▶ 1回 11月頃
- 名古屋：堀田 ▶ 1回 (2日間) 10月頃
- 鹿児島：深谷 ▶ 8月13・14日 (日曜日・月曜日)

*全てことば療法士のポイントセミナー

認定校

- 1 名古屋市【発語音楽研究所】
療育責任者：堀田喜久男
(発語音楽療法←検索)
- 2 東大阪市【みそら音楽教室】
療育責任者：深谷靖子 (どれみだんけ facebook)



みそら音楽教室

認定教室

- 1 大阪府【さゆり音学院】 主宰者：土田靖子 HP：<http://www.seepa.jp/u/hatugo-oosaka/>
- 2 愛知県【SiSiDo Music room】 主宰者：穴戸理恵
HP：<http://www.seepa.jp/u/piano-hatuhgo/>
- 3 京都府舞鶴市【でんでんむしの会】 松浦光子
- 4 三重県【樋口音楽教室】 主宰者：樋口なおみ
- 5 福岡県行橋市【ことばの音楽教室】 主宰者：工藤知子
- 6 福岡県遠賀郡『りずむの木』 主宰者：石井純子
- 7 京都府舞鶴市『さがん発語音楽教室』 主宰者：目美香
- 8 大阪府枚方市『安宅ことば音楽療法教室』 主宰者：安宅千世子
- 9 東京都江戸川区ことば音楽療法『あ・い・う・え・お』 主宰者：嬉 利恵
- 10 愛知県碧南市『ひだまり』教室 主宰者：小笠原清恵
- 11 福岡県行橋市長木『ことばの♪パツソ♪』教室 主宰者：松尾範子
- 12 兵庫県芦屋市『きじ猫 音楽工房』 主宰者：上野奈央
- 13 愛知県常滑市『長鎌音楽教室』 主宰者：長鎌明美
- 14 大阪市都島区『音楽セラピーみゅーじっくらんど』 主宰者：末吉裕美



音楽セラピー
みゅーじっくらんど

ことば音楽療法士 認定者 ▶ 125名 (受講中も含め) H29年6月現在

ことば音楽療法の認定校・教室です。教室か事務局にお問い合わせください。
認定校・認定教室を全国にて募集しております。 TEL & FAX : 052 (505) 5255

一般社団法人 発達支援協会 事務局

〒452-0821 名古屋市西区上小田井2-98 JHTA内 TEL & FAX : 052 (505) 5255

ことば音楽療法 日本ことば療法学会

検索